

別記様式3

特定プログラム説明書

開設学部等名〔理学部，教育学部，総合科学部，総合博物館〕

プログラムの名称	(和文) 科学コミュニケーター養成特定プログラム
	(英文) Science Communicator Program
<p>1. 概要</p> <p>科学技術に立脚した現代社会においてその知識の理解普及は大きな課題である。科学技術に関する広報活動はこれまでも行われてきたが，特に近年は，いわゆる欠如モデルに基づいた科学的知識の一方向的な伝達ではなく，伝える側と伝えられる側のコミュニケーションに基づいた相互理解の重要性が認識されている。このような状況を踏まえ，科学コミュニケーションに関する知識をもち，それを実践する科学コミュニケーターの養成が重要となっている。本学においては学芸員資格取得特定プログラムによる博物館情報・メディア論（総合博物館），サイエンスミュージアム教育論（教育学部），Hiサイエンティスト養成プログラムにおける科学リテラシー（未来創生科学人材育成センター（旧理学融合教育研究センター））など，科学コミュニケーションに関連する教育を行ってきた。</p> <p>本プログラムにおいては，このような既存の科目を有機的に活用し，サイエンスカフェなどのイベントの企画，構成，運営，司会（ファシリテーション）実習や科学とメディアの関係などの科目を提供することにより，科学コミュニケーターを目指す人材はもとより，教員や学芸員を目指す広島大学の多くの学生を対象に科学コミュニケーションの知識と経験を学ぶ機会を提供する</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>科学コミュニケーションに関する総合的な知識の習得，およびサイエンスカフェなどの科学コミュニケーション実践の場の企画，構成，運営，ファシリテーション体験を通じ，科学コミュニケーターや理数科教員として科学の解釈を伝えるための見識と実践能力をもつ人材を育成する。</p>	
<p>3. 登録時期</p> <p>原則として3セメスターを履修開始時期とする。プログラム登録は，履修開始前（事前登録）を原則とするが，履修開始後の登録（事後登録）も可とする。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>本プログラム選択のための登録要件は特に定めないが，各科目において履修要件を定めている場合はそれに従う必要がある。</p>	
<p>5. 受入上限数</p> <p>本プログラムの登録にあたっての受け入れ上限数は特に設けないが，科目毎に受講上限数を設けることがある。</p>	
<p>6. 授業科目</p> <p>※授業科目は，別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は，各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
<p>7. 修了要件</p> <p>本プログラムで定めている科目を履修し合計8単位以上を習得すること</p>	
<p>8. 責任体制</p> <p>責任者兼コア担当教員：先進理工系科学研究科 准教授 高橋 徹</p>	

コア担当教員：先進理工系科学研究科	教授	木村俊一
統合生命科学研究科	教授	泉俊輔
先進理工系科学研究科	助教	福原幸一
先進理工系科学研究科	助教	吉田啓晃
人間社会科学研究所	准教授	匹田篤
総合博物館	准教授	清水則雄
人間社会科学研究所	教授	磯崎哲夫

9. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

原則として 既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）の認定単位数等

原則として 既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

科学コミュニケーター養成特定プログラム履修表

開設学部等	授業科目	単位数	履修期	履修区分	要修得単位数
理学部	科学リテラシー	2	3セメ	選択必修	2
理学部	科学コミュニケーション概論 A	2	集中 (3セメ)		
理学部	科学メディアリテラシー	2	集中 (4セメ)	必修	2
理学部	科学コミュニケーション演習 I	2	集中 (5セメ)	選択必修	2
理学部	科学コミュニケーション演習 II	2	集中 (6セメ)		
総合博物館	博物館情報・メディア論	2	5セメ (第1ターム)	選択必修	2
教育学部	サイエンスミュージアム教育論	2	7セメ (第1ターム)		
合計					8